

公 表 日
平成 25 年 11 月 22 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	五ヶ瀬川水系浸水被害軽減対策検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官代理 九州地方整備局 延岡河川国道事務所副所長 峯 直治 宮崎県延岡市大貫町 1 - 2 8 8 9
契約年月日	平成 2 5 年 1 1 月 2 2 日
契約業者名	(株) 建設技術研究所
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名 2 - 4 - 1 2
契 約 金 額	1 0 , 0 8 0 , 0 0 0 円 (税込み)
予 定 価 格	1 0 , 3 7 4 , 0 0 0 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業 務 場 所	五ヶ瀬川水系
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間 (自)	平成 2 5 年 1 1 月 2 3 日
履行期間 (至)	平成 2 6 年 2 月 2 8 日
備考	

契約理由書

1. 業務件名 五ヶ瀬川水系浸水被害軽減対策検討業務
2. 履行場所 五ヶ瀬川水系
3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名 2-4-12
会社名： 株式会社建設技術研究所九州支社
電 話：092-714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

- 1) 当該業務の目的

本業務は、内水常襲地帯である川中地区において内水解析モデルを構築し内水被害の軽減を目的とした検討を行うものである。

- 2) 業務の内容

計画準備	一式
資料収集整理	一式
現地調査	一式
降雨及び流出解析	一式
内水解析モデルの構築	一式
内水被害要因分析	一式
内水被害軽減対策検討	一式
概算事業費の検討	一式
費用対効果の検討	一式
打合せ協議	一式
報告書作成	一式

- 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を22者が入手（ダウンロード）し、5者から参加表明書が提出され、4者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち4者を技術提案書の提出者として選定し、3者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者及び照査技術者の資格及び実績等、配置予定技術者及び照査技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に「配置予定技術者の資格及び実績」、「配置予定技術者の成績及び表彰」は最も優れた評価であり、かつ「実施方針・実施フロー・工程表・その他」の「業務理解度」及び「実施フロー」が最も優れた評価であり、及び評価テーマの「川中地区における流出形態を考慮した内水要因と、考えられる対策手法について」に対する技術提案について「的確性」及び「実現性」について、最も優れた提案がおこなわれていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

延岡河川国道事務所 調査第一課長